第４講
古代ギリシア②

【フィリッポス２世】マケドニアはギリシアの北の果て，ポリス世界からはバルバロイ視されていた。もっとも19世紀の発掘でドーリア人であることが確認されたが。

マケドニアは(1)〔　　〕の時に富国強兵した。目的はアケメネス朝ペルシア対策だ。金山銀山も所有した。マケドニアの強大化に対し，アテネの弁論家は**デモステネスら主戦論 vs イソクラテスら和平論に分かれたが主戦論がとおり**マケドニアと戦った。(2)〔　　〕（(3)〔　　〕年）だ。**マケドニアがアテネ･テーベに勝ち，スパルタを除く全ギリシアの盟主となった**（(4)〔　　〕＝ヘラス同盟）。いよいよ**マケドニア人の覇権の時代**，**ヘレニズム時代**の幕開けだ。

【アレクサンドロス大王】弱冠（じゃっかん）二十歳で帝位を継いだアレクサンドロス３世（大王）は，(5)〔　　〕海峡（かいきょう）を渡り東征を開始。緒戦のグラニコス川の戦いは辛勝（しんしょう）するものの(6)〔　　〕年の(7)〔　　〕でアケメネス朝ペルシアの最後の王(8)〔　　〕世を蹴散らす。その戦いの絵を確認せよ。

次いでアレクサンドロス大王は**地中海東岸を南下**，ティルスを埋め立てて攻略し(9)〔　　〕人，エルサレムを攻略し(10)〔　　〕人を支配した。エジプトに入るとメンフィスで**アモンの化身となって自らを神格化，東方的専制君主（せんせいくんしゅ）への道を歩み始める**。メソポタミア北部の(11)〔　　〕でダレイオス３世を再び破り(12)〔　　〕**に入城し神マルドゥクの化身（けしん）となり**自分の帝国の中心地とする。

【ペルセポリス炎上】(13)〔　　〕山脈を越えイランに入り，アケメネス朝の都(14)〔　　〕そして(15)〔　　〕を攻略，**ゾロアスター教の善神アフラ＝マズダの化身**となる。そして**ペルセポリスのクセルクセス１世の神殿に火を放つ**。

しかし彼の遠征はペルシア征服では終わらなかった。現イランを北上し(16)〔　　〕南東の(17)〔　　〕，(18)〔　　〕上流の(19)〔　　〕（現アフガニスタン），シル川との間(20)〔　　〕（現ウズベキスタン）と旧ソ連を現中華人民共和国の方向へと迫る。(21)〔　　〕山脈を越え(22)〔　　〕峠を越えインドに入るが，インダス川上流には毛細血管の如くに川があり，結局それらを渡り切れず，インダス川そしてアラビア海に沿って移動しバビロンに戻った。こうして成立したのが**ヘレニズム文化圏**。東が(23)〔　　〕から西は(24)〔　　〕。帝国の都は(25)〔　　〕だ。

解答

（１）フィリッポス２世　（２）カイロネイアの戦い　（３）前338　（４）コリントス同盟
（５）ダーダネルス　（６）前333　（７）イッソスの戦い　（８）ダレイオス３
（９）フェニキア　（10）ユダヤ　（11）アルベラの戦い　（12）バビロン　（13）ザグロス
（14）スサ　（15）ペルセポリス　（16）カスピ海　（17）パルティア　（18）アム川
（19）バクトリア　（20）ソグディアナ　（21）ヒンドゥークシ　（22）カイバル
（23）インダス川　（24）マケドニア　（25）バビロン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【東西融合政策】アレクサンドロス大王といえば (26)〔　　〕。**①マケドニア男性とペルシア女性の通婚，②ペルシアの官僚制度の採用，③** (27)〔　　〕**を多数建設しギリシア文化を移植，④東方的専制君主体制の採用，⑤共通ギリシア語** (28)〔　　〕**の普及**など。

【ディアドコイ（後継者）戦争】アレクサンドロス大王は30代前半でバビロンにて急逝（きゅうせい），カッサンドロス，リシマコス，プトレマイオス，セレウコスの４人の (29)〔　　〕（後継者（こうけいしゃ））が受け継いだ。その中のセレウコスはインド侵入時の講和条約の証として (30)〔　　〕朝マガダ国の (31)〔　　〕から象をプレゼントされ，(32)〔　　〕年の (33)〔　　〕を優位に進め，結果ヘレニズム３国で最大となった。

ヘレニズム３国とは，(34)〔　　〕（都 (35)〔　　〕），(36)〔　　〕（都 (37)〔　　〕→ (38)〔　　〕），(39)〔　　〕（都 (40)〔　　〕）。アレクサンドリアこそヘレニズム文化の中心地で学術研究所 (41)〔　　〕がつくられた。museumの元となる語だ。セレウコス朝がティグリス川にセレウキアを建設したのでユーフラテス川のバビロンが衰退（すいたい）した。

セレウコス朝シリアから自立するのが，現アフガニスタンの (42)〔　　〕（ギリシア系），現イランの (43)〔　　〕（(44)〔　　〕系），小アジア現トルコの (45)〔　　〕（**アッタロス朝**，(46)〔　　〕が発祥でヘレニズム文化の中心の一つ）の３つ。

解答

(26) 東西融合政策　(27) アレクサンドリア　(28) コイネー　(29) ディアドコイ
(30) マウリヤ　(31) チャンドラグプタ　(32) 前301　(33) イプソスの戦い
(34) アンティゴノス朝マケドニア　(35) ペラ　(36) セレウコス朝シリア
(37) セレウキア　(38) アンティオキア　(39) プトレマイオス朝エジプト
(40) アレクサンドリア　(41) ムセイオン　(42) バクトリア王国　(43) パルティア王国
(44) イラン　(45) ペルガモン王国　(46) 羊皮紙（ようひし）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第４講　テスト

1　マケドニアのフィリッポス２世がアテネ・テーベ連合軍を破った戦いは。

①　ニハーヴァンドの戦い

②　イッソスの戦い

③　カイロネイアの戦い

④　パーニーパットの戦い

2　アレクサンドロス大王の東方遠征はどの川まで。

①　ユーフラテス川

②　シル川

③　インダス川

④　ガンジス川

3　ヘレニズム３国に含まれないのは。

①　セレウコス朝

②　ササン朝

③　アンティゴノス朝

④　プトレマイオス朝

4　地球の周りの長さを測定したのは。

①　アリスタルコス

②　アルキメデス

③　エウクレイデス

④　エラトステネス

5　以下のうち，ヘレニズム時代と無関係のものは。

①　ラオコーン

②　サモトラケのニケ

③　アテナ女神像

④　瀕死のガリア人

6　ヘレニズム時代の人体解剖　動脈と静脈の区別と言えば。

①　エピクロス

②　ヘロフィロス

③　ヒッポクラテス

④　ゼノン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第４講　テスト解答

1　③　　2　③　　3　②　　4　④　　5　③　　6　②

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。